

「しゃっぺみよう！防災訓練」

団体の活動概要

初めまして、日立市十王町の子ども会です。昭和三十七年設立で環境活動に力を入れてきました。合併してから組織体制を新たに、五年目を迎えています。

よし、子どもに体験させよう

「もし、災害が起きたときに私たちの子どもは、大丈夫だろうか。」そんな素朴な親の気持ちから事業を企画することになりました。

子ども達はクーラーの無い避難所で寝ることができるかしら、非常食は食べられるかしら、家で一人のときに災害が起きてしまったらどうするかわかってるかしら、一人で避難所に行けるかしら、役員会で子どもを思う親の気持ちとしての意見がたくさん出ました。考えてみれば私たち親も、幸せなことですが大きな災害を経験したことがあります。是非、子ども達に体験させてみようということになりました。

わい、ふんやん企画する

初の試みで全てが新規で解らないことばかりなので、まずは専門家を頼ろうということになりました。

た。防災のことは日立市生活安全課から、防災訓練については日立市北部消防署十王出張所の全面的な協力を頂きました。会場は小学校に快諾を頂き、コミュニティからは青少年育成部を中心に、アドバイスや物品などで大きな協力を頂きました。当日の大きな助っ人は楡形小学校PTA、特に親父の会のお父さん方でした。

いろんな部署の方と話をすることで子ども達に体験させたいこと、体験させられること、安全の確保も含めて育成会でやることばかりと見えてきました。

事前打ち合わせを繰り返し、手分けをして買い出しに動き出せたのは事業が目前の頃でした。

そのとき、君にできること

サブタイトルは「そのとき、きみにできること」、いよいよ一日の当日になりました。

役員が運営した「防災ゲーム」から始まり、119番通報訓練、水消火器訓練、バケツリレー、担架運び、AEDの使用方法などを消防士から学び、非常食の夕食を済ませ、体験談や防災に関係した紙芝居を聞き、夜は床に手持ちの毛布一枚でいる寝を体験しまし

た。

二日目はラジオ体操から始まり、役員の企画したワークシヨップで、避難所で役に立つと思うものとして持ち寄ったものを紹介しあい、「自分の避難バック」として準備するものを考えました。更に、阪神淡路大震災のDVDを見ながら「避難所のルール」について考えました。

自身が考え、行動することを心がけて実施しました。

活動そして、その後…

アンケートから約八割の子どもが体験は防災に役に立つと考え、また参加したいと答えました。

普段はできない体育館のごろ寝や訓練などを体験し、命の尊さ、仲間や家族の大切さを考える機会を作ることができました。

魅力ある子ども会事業の一つとして将来の地域防災リーダーを育てたいと考えています。

受付は小学校担任経由、夜間は駐在所のバトロールと細部にまで多くの方々助けられました。



Profile

十王学区子ども会育成連合会
 代表：加藤 貴代美
 連絡窓口：藤原 佳志子
 住所：日立市十王町伊師本郷 3924-8
 電話：0294-39-2655

花貫川清流の里づくり会

「花貫川の環境整備と内水面資源の蘇生」

団体の活動概要

秋山地域の慈眼寺橋より下流の、花貫川河川敷の草刈りや、ごみ拾い、河川敷整備による環境保全と、鮭・ヤマメ・カジカの放流による水産資源の蘇生を行っています。

組織と主な事業

一 組織

花貫川流域の各種団体の代表者を役員に迎え、市内全域及び隣接市町村より会員を募集し、現在百七十四名の会員で運営しています。

二 主な事業

河川流域の草刈りとごみ拾いを年間三回実施しているほか、慈眼寺橋広場（イベント広場）の清掃は行事の都度行っています。また河川の水质保護の取り組みとして、ごみ捨て防止の看板や、秋山小学校五年生による環境標語看板等を流域に設置しているほか、会員による河川流域の環境マナーの呼びかけ等を行い、汚染水、汚染物の流失情報をおつめ関係機関に連絡しています。

昔遊んだ川遊びの思いを今の子供たちが体験できる、安全できれいな川を復活させるため、昔遊んだ広場を会員たちで整備を行い



花貫川秋山地域、慈眼寺橋河川広場でサケの放流



秋山小学校3年生児童による吹奏楽によりサケを放流する



花貫川でヤマメのつかみ取り

Profile

花貫川清流の里づくり会

代 表：小野崎 廣喜

住 所：高萩市秋山 1863-1

電 話：0293-22-4911

FAX：電話に同じ

活動の特色

一 他団体との協働性

茨城県内水面水産試験場の協力により「花貫川・多々良場川の魚類生態」また「鮭の育成について」の講演会を実施しています。

会員及び秋山小学校親父の会で河川の中洲を遊び場に整備しました。

ベンチ広場としてベンチ・テーブルを設置したほか、川の中洲を重機を使い遊び場、魚の放流場所に整備しました。

ヤマメ・カジカ・鮭の放流を行い、ヤマメの釣り大会、ヤマメのつかみ取りを地域の三世代交流事業として実施しています。

秋山小学校三年生、秋山幼稚園、あおぞら保育園児、及び関係機関の参加のもと鮭の稚魚放流をしました。

地域住民参加の、ヤマメの釣り大会、子供を対象としたヤマメのつかみどり、鮭の遡上見学会を実施しました。

二 分野の複合性
河川環境保全については今後も継続していきます。

子供たちの健全な遊び場の提供と遊び場整備を図り青少年健全育成を継続していきます。

活動の成果

・河川環境に対する地域住民の関

心が高まりました。

・慈眼寺橋広場等が地域の三世代の憩いの場所となりました。

・子供会及び秋山小学校親父の会で川遊び行事に使われるようになり

ました。

・河川に対するボランティア活動の意識が広がりました。

・鮭の遡上が見られるようになり

ました。

・河川に魚類が多く見られるようになり、釣り人が多くなりました。

今後の目標

・環境整備保全事業の充実。

・花貫川周辺里山の整備。
・会員の増加。



高萩市

下利員の環境を大切に作る会

「みんなで作ろう！住みよい下利員町」

団体の活動概要

「自分たちの町は自分たちで良くしよう」と町民全員で環境問題に取り組んでいます。

活動の特色

下利員町は常陸太田市の西部に位置し、人口約三二〇人、世帯数約九五世帯で、六五歳以上の高齢者が約二二〇人住んでいます。

その下利員町にある貴重な文化財「仁王像、薬師如来坐像」の周辺は公園になっており、環境を大切にすると町民が一緒になって草刈や参道を整備して、訪れた人が気持ち良く拝観できるようにしています。

また、下利員公民館と共同で花壇を設置し、子ども会と協力して花いっぱい運動を広めています。さらに町会と協働して夏祭り、運動会を毎年開催しています。

昨年からは年間を通して町会、公民館、青年会、子ども会、老人会、女性学級など様々な団体と連携して資源ゴミの回収に取り組み、資源の有効活用と減量化に努めています。

また、青年会、公民館と協力して地域のコサ払いを実施して、町

内の美化に努めています。

大切に作る会では、これからも地域の人たちと一緒に取り組み、地域の活力や一体感を生み出し、住民同士の人間関係の大切さを知る機会をつくって行きたいと思っています。

活動の成果

地域にある身近な文化財周辺の環境を整備し美化したことで、多くの人が訪れ、下利員の先人たちを守り続けてきた貴重な文化財に愛着と誇りを抱くようになりました。昨年は現地でも夏祭りを開催し、近隣の住民の方たちや、お盆に帰省された人たちが集い交流する場となり、人と人とのつながりを広げています。

花いっぱい運動では、子どもたちが花を育てるなかで生命の大切さ、思いやりの心を育んでいます。また、資源ゴミ回収活動では、子どもたちが物を大切にすることや互いに助け合うことなどを学び、活動を地域ぐるみで支えて子どもたちを育てています。

様々な活動に地域の人たちが一緒になって汗をかき、楽しむことで住民同士の人間関係の大切さ、絆の強さをつくっています。

今後の目標

「継続は下利員町としての真価」三三年間続いている下利員夏祭り、町民運動会は地域全体で参加する大切なコミュニケーションの場でもあり、人と人とのつながりも広がっています。環境を大切に作る会は、これからも協力して「真価」をつないでいきます。

「環境がキーワード」

誰もが気軽に参加して取り組んで良かったと思われる地域ぐるみの環境に関する具体的な活動を提案していきます。

「生き生きと輝ける場所づくり」



みんなが楽しめて、なおかつ地域に貢献できる活動に取り組んでいきます。



Profile



下利員の環境を大切に作る会

代表：生天目 操

住所：常陸太田市下利員町
1052

電話：0294-76-1358

西金源起会

「奉仕活動と親睦バーベキュー・西金ふるさと夏祭り・西金どんと焼き、鳥追ひ祭り」

会結成と活動の目的

二〇〇五年三月三十一日、地域の小学校として、地域と共に歩んできた大子町立西金小学校が百三十二年の長い歴史を閉じました。西金源起会は、西金小学校閉校記念事業実行委員会の有志により二〇〇七年四月に結成されました。

「地域の発展には教育が重要」との認識のもと設立された西金小学校の跡を、地域の人々が集まり交流する場所として、昔行われていた盆踊りや、鳥追ひ（どんと焼き）などの事業を実施することにより、地域住民の親睦と地域活性化を図り、次世代の人々への引継を果たす活動を行っています。

活動の特色

「出来る時に、出来る事」を会の方針とし、無理のない、会員それぞれの特技を生かした手作りの活動を行っています。

これまでの主な活動

①西金ふるさと盆踊り大会の開催
二〇〇七年八月十五日実施
・盆踊り大会、仮装盆踊り大会、大抽選会、児童によるめりえボス

ターコンテスト

・模擬店「焼きそば、煮イカ、焼き鶏、フランクフルト、綿あめ、かき氷、ヨーヨー釣り、飲物コーナー等」

②西金桜宴会・西金小花火大会の開催

二〇〇八年四月十三日実施

・桜宴会「奥れた歌謡ショー、のど自慢大会、大声コンテスト、桜のライトアップ、甘酒無料サービス」

・西金小花火大会「二号、四号花火 計七十五発打上」

・模擬店「豚汁（大鍋）、牛の串焼き、焼きそば、焼き鳥、フランクフルト、コンニャク味噌おでん、チョコバナナ、お好み焼き、飲物コーナー等」

二〇〇九年度の活動

①奉仕活動と親睦バーベキュー

七月二十日「海の日」に、西金小学校跡地の草刈りと駐車場・グランド整備、通学路清掃（ゴミ拾い）を会員と家族により行い、終了後にバーベキューを行いました。（毎年実施）

②西金ふるさと夏祭り

八月十五日のお盆に、地域住民はもとより帰郷した人たちに昔な

がらの盆踊りや歌謡ショー、のど自慢大会、大声コンテスト、ビールコーラ早飲み、釜揚げうどん早食い、ゲーム広場（ストライクアウト他）、西金小花火大会、大抽選会を実施し、模擬店については、会員により焼きそば、お好み焼き、焼き鳥、焼きモツ、チョコバナナ、フランクフルト、かき氷、綿アメ、飲み物コーナー等を行い来場者に楽しんでいただきました。

皆様に私たちの活動が期待されていることを実感しています。

今後の活動

地域の皆様との関わりを大切に、西金小学校の跡地を活用し、「出来る時に、出来る事」を合い言葉に、無理のない、会員それぞれの特技を生かした、手作りの事業を行い、地域の子供からお年寄りまでが参加でき、交流し合える場所と機会を提供していきます。

活動の成果

一月十六日西金地区では行うことのなくなった、鳥追ひ（どんと焼き）を行いました。鳥追ひ小屋を造り、各家庭から、正月用のしめ縄・しめ飾り、古いお札等を持ち寄っていただき、お祓いをして、お焚き上げをしました。残り火で参加した皆さんにシノ刺し餅（百五十本）を焼き食べていただき、模擬店では、珍しい猪大鍋汁や芋串、手打ちうどん・そば等の販売を行いました。

事業ごとに地域の多くの皆様の参加や協力などにより、私たち源起会が地域の皆様に支えられて活動ができること、また地域の中で源起会の活動が認められ、地域の



大子町

Profile

西金源起会
代表：代表幹事 飛田 一也
住所：久慈郡大子町西金 1876
電話：090-2250-0357
活動：大子町立西金小学校跡地

大子町連合若連

「大子をまつりで元気アップ 草の根運動」

活動の特色

大子駅前を中心とした7つの自治会（栄町・本町・泉町・金町・愛宕町・近町・小久慈）は、商業を中心とした栄え、中心市街地として大子町の中核をなしてきました。しかし、過疎化の進行による人口の減少、また、高齢化の進行等により、閉塞感が町全体をつつんできています。

こうした状況の中、7つの自治会の若者たちが立ち上がり、自分たちの地域を自分たちで盛り上げようと様々な取り組みを積極的に行っています。

その中心行事として行われているのが、伝統ある祭囃子が行われる「大子ぶんめき祭り」と、大子の夏を飾る恒例行事である「大子町花火大会と灯籠流し」です。どちらの行事も大子の大きなイベントとして定着をしていますが、大子町及び大子町観光協会と連携を図り、大子町連合若連が共催している行事です。

その他、大子まつりへの参加、子供会や老人会との交流など、ボランティア活動を含め積極的に多彩な活動を行っています。

活動の成果

若者のパワーと気概によって行われる事業は、地域住民同士の絆を深め、中心市街地及び大子全町へ元気を与えています。

活動の場を更に広げ、充実した内容とすることにより、イベント等を大きくし、観光立町大子の一翼を担っています。

今後の目標

伝統・文化を継承する活動により、子どもと高齢者が自然なかたちで交流し、発展していき地域リーダーを誕生させる。そして、各自治会において若者のコミュニケーションシヨンプづくりが行われ、地域社会への貢献及び地域の活性化を図っていきます。

メッセージ

私たちが生活する場である、ご近所は、暮らす・育つ・学ぶ・憩うなど様々な機能を持つ一番身近なコミュニティの場でありました。しかし、過疎化に悩む大子町



Profile

大子町連合若連
 代表：会長 松本 豊
 住所：〒319-3526
 茨城県久慈郡大子町大子 1905
 電話：090-4925-9371



NPO法人障害者の自立を支援する会

「障害者の自立支援と商店街の活性化」

団体の活動概要

地域の山林の荒廃を防ぐため、森林管理士の資格取得、環境保全の活動を積極的に行っています。

また、日立市大久保町の里山の整備のため、日立林業組合に入会しました。日立地区をはじめ各地域の里山の下刈り、間伐、植林等を行っています。

日立市内障害者施設利用者の工賃増額のために生製品の販売促進活動、生製品紹介のホームページを作成しているほか役務作業の仲介や紹介を行っています。

活動の特色

平成二十一年五月に日立市精神障害者を守る会（家族会）と各ボランティア団体の協力を得て、その活動はさらに活発となり、障害者の地域参画と活力の低下した商店街の活性化を図ることとなった。現在では、商店街の空き店舗を利用して、生製品の販売と障害者を含めたすべての地域住民、この町を利用する人たちの交流が行われ、活力ある街づくりと障害者たちの生命力あふれる生活をつくりあげる活動になっています。

活動の内容

「つどいの広場」情報交換、地域住民と障害者の交流の場所を開所

（週五日）

障害者施設等の生製品の販売活動

（週五日）

里山の環境保全活動、障害者と高齢者の住居確保の検討

（七月・八月）

まちの住民と里山所有者との交流事業の検討

（九月）

問伐材利用の商品開発検討
障害者の法律相談（十一月・二月）

活動の成果

日立市多賀の通称よかつべ通りに面する谷川ビル1階店舗を所有者のご好意にて無料で貸していただき、平成二十年十一月に「つどいの広場」として開所しました。障害者と地域の方々、商店会の交流の場所が提供されたことにより、商店街との関係が良好になりました。各商店主たちとの事前の意見調整により商店側と障害者の、更に良好な関係が作っていきけると思えます。

今後の目標

商店街の活性化、障害者と地域住民との交流に取り組みます。情報交換の場「つどいの広場」の活用、障害者施設の生製品の販売促進活動、役務作業の仲介と紹介、工賃倍増支援、障害者とともに里山の環境整備と再生活動、まちの

住民と里山所有者との交流会、問伐材利用の商品開発等、里山の資源をまちの活性化に活用していきます。また、里山自然物産の販売、市街地区の空マンション等に障害者と高齢者の住居を確保することの検討を引き続き行い、障害者の自立と地域参画、活力の低下した商店街の活性化をめざします。



Profile



NPO 法人障害者の自立を支援する会
代 表：照山 次男
住 所：水戸市東台2-16-16-101
電 話：029-233-2127

睦読書会・ブレイルーム

「読書と手作りの楽しさを伝える」

団体の活動概要

睦読書会は、市内の幼稚園・保育園を訪問して、手作りのカーテンシアター・プラックシアター・パズル・寸劇等を上演して、子供達に読書の楽しさを伝えていきます。ブレイルームは、布で大きな絵本を製作し、図書館に納め、子ども達に楽しんでもらっています。

また、月に一度「手作り教室」を開催し、大人と子どもが一緒に木や布や紙で絵本やおもちゃを製作しています。ここでは、自分の手で割り出していくことの大切さを伝えていきます。

活動の特色

過去二十年近くは、旧友部町の中だけで「手作り絵本展」を開いてきましたが、今年八月、初めて外に向けての展示会に挑戦しました。

より多くの人達に「布絵本」の、色の美しさを目で楽しみ、更には手の感触からも言葉が広がることを伝えたかったからです。

今回展示された多くの「布絵本」は、布の柄や質感を活かして、大人が布の絵を製作し、それを見て子ども達がお話を創作する、まさ

に大人と子どもの共同作品です。これは、この会独特のもので他には無く、子どもの言葉の力を育て、想像力を豊かにして、生きる力となっていく絵本です。

活動の成果

八月六日から九日まで開催した県立図書館ギャラリーでの「布と木と紙の絵本展」には、約六百人の人が「手作りの世界」を楽しんでくださいました。夏休み期間中でもあり、多くの子供達が、一冊一冊、絵本を丁寧に見ていたことが、とても印象的でした。牛乳パックで作った「くるくる絵本」は大人気でした。また、八日に行なった「しかけ絵本作り教室」も盛況で、出席者全員、個性豊かな絵本を仕上げました。

今後の目標

プラックシアターの機材が購入でき、子供達に幻想的な絵本の世界を紹介でき嬉しく思っています。

今後は、この幻想の世界を一人でも多くの

人に楽しんでもらえるよう、研鑽を重ねていきます。

また、目に見えない想像の世界を、目に見える世界に変える「絵本づくり」を通して、子供の言葉とイメージする力を育んでいきます。

メッセージ

私達は、子ども達に、できるだけ多く言葉と出会い、想像の世界に浸ってもらいたいと考えています。心を震わせるような体験を沢山して、人間性豊かな人に成長することを願いつつ、今後も活動をしていきます。



Profile

睦読書会・ブレイルーム

代表：熊谷 美喜代

住所：〒309-1737

笠間市中央 4-2-15

電話：0296-77-3932

活動内容：

- ①「手作り絵本教室」開催
毎月第二土曜日 10:00～
- ②布絵本の製作
- ③お話会開催・年3回

「かまど炊きごはんづくり・あそび会」

団体の活動概要

私たちは地域の子育て支援ボランティアで「なかさん元気っ子あそび会」を実施（十八年度設立）しています。

地域の幼児・小中学生を募り、地域を散歩し地域の特色や歴史・名所など調べることで、ふるさとの良さを発見していく機会となる



ような活動をしています。また、地域住民の支援により体験型のあそび会を中心に活動し、特に、高齢者との交流により、地域の特色や伝統を伝えるとともに、地域住民の活性化と郷土愛を育むことを目的としています。

世代を超えた活動

「かまど炊きごはんづくり」「もちつき大会・蒟玉づくり」などの各事業やその日のあそび会では、地域のボランティアと高齢者や高校生などが子ども達を支援する形で行っています。子ども達と高齢者と混合チームで行う「ピー玉送り」や「輪投げ」は、にぎやかな応援と勝利の歓声で世代を超えた交流になり盛り上がりました。

子ども達は、初めての体験での感動や高齢者の方から教えていただいたことの感想を一枚の新聞にまとめました。まとめた新聞は高齢者等に回覧し読んでもらいました。地域の活動として記録に残るとともに、子ども達にとってもふるさとの思い出に残す記録となりました。

活動の成果

子ども達には高齢者への尊敬の気持ちと郷土愛が育ち、高齢者には甘々の体験を子ども達に事伝えることで「元気な笑顔」になり活気ある地域となり相乗効果が見られました。また、ボランティア同士の連携も良くて多様な活動と支援ができるようになりました。

今後の目標

高齢者の方には、戦争体験や食生活の今昔及び行事・祭事食について、子ども達に伝えていただきたいと願っています。このため地産地消の一環として、地域の農家と子ども達が交流し、活動を広げていくことでふるさとの良さを体験できる企画にしていきたいと考えています。

メッセージ

企画する者が各事業の計画や役割、当日の内容やタイムスケジュールなどを明確にすることで充実した活動ができたと思います。



Profile

なかさん元気っ子あそび会
 代表：住谷 里子
 住所：東茨城郡那珂西 1917-1
 電話：029-288-2280
 活動エリア：
 那珂西三区公民館